

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確報値）

（令和3年3月4日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	7,000	23.1	過去 9 番目
ハクチョウ類	1,773	5.9	過去 38 番目
カモ類	21,496	71.0	過去 33 番目
計	30,269	100.0	過去 24 番目

※ 3月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は49回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和3年3月4日	7,000	1,773	21,496	30,269
令和2年3月5日	1,191	435	23,236	24,862
増減	5,809	1,338	▲ 1,740	5,407

3 主な確認地

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
(1) ガン類	伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	6,033 羽	36
	蕪栗沼 (大崎市)	363 羽	990
	お伊勢浜 (気仙沼市)	156 羽	0
(2) ハクチョウ類	加美町鳴瀬川 (加美町)	385 羽	0
	栗駒三迫川-岩ヶ崎 (栗原市)	240 羽	0
	栗駒高松 (栗原市)	135 羽	0
(3) カモ類	南川ダム (大和町)	1,781 羽	119
	花山ダム (栗原市)	1,666 羽	268
	伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	1,287 羽	1,348

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地約500か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会の会員等

95人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

ガンカモ類の北帰行は例年通り2月上旬から始まったが、その後の寒波によって、秋田県八郎潟など、中継地の雪解けが遅れたため、渡りの進行が遅れた。その結果、暖冬だった昨年と比較して個体数が多く記録されたと考えられる。